
 伊豆の国だより
 Public Interest Incorporated Foundation
 Institute for Agriculture, Medicine and Environment

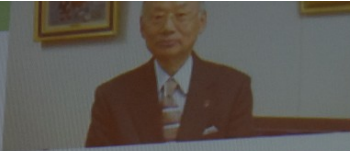
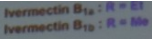
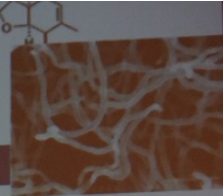
News from Izu
 1号～12号～

農業と環境と健康は一体のもので、これらを単独に扱うことはできません。農の営みと人びとの健康は、それらを取りまく環境に影響を受けます。一方、農の営みは環境と健康に影響を及ぼします。文化・文明もまた農と環境に影響を及ぼし、かつ影響を受けます。すなわち、農業、健康、文化・文明はそれらを取りまく環境に依存しています。環境はすべての基(もと)なのです。すなわち、人びとが豊かに生きるためには、環境を通した農と健康の連携が必要なのです。

近年、「**農医連携**」という概念や言葉は、学会、省庁、地方行政、民間、新聞などの報道の世界にも散見されるようになり、社会に少しずつ浸透してきました。農と環境と健康の連携のはたらきを生むには、多くの分野の協力なくしては成立しません。

「伊豆の国だより」では、農と環境と健康に関する様々な情報をつないでまいりたいと考えています。本誌の内容は、当研究所の理事である陽捷行(みなみかつゆき)と佐久間哲也(さくまてつや)が担当します。

大村 智:
ノーベル賞

- **大村 智**(おおむらさとし、1935年)は、日本の有機化学者。北里大学特別栄誉教授。薬学博士、理学博士、有機合成化学、触媒開発研究。
- **ノーベル生理学・医学賞受賞**。アレキシス・カレルも。
- 静岡県伊東市内のゴルフ場近くの土壌中から、新種の放線菌「**ストレプトマイセス・アベルメクンチニウス**」を発見。寄生に有効。
- 寄生虫による風土病の治療薬として実用化した「**イベルメクチン**」はアフリカなどで無償供与され、世界で年間3億人を失明の恐怖から救っている。

土壌とノーベル賞

フリッツ・ハーバー:

1918化学賞、窒素肥料

カール・ボッシュ:

1931化学賞、窒素肥料

セルマン・ワックスマン:

1952生理学・医学賞

抗生物質、ストレプトマイシン

ゴア副大統領+IPCC:

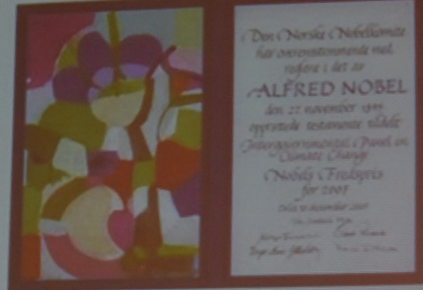
2007平和賞、地球温暖化

土壌から発生するメタン・亜酸化窒素:

大村智:

2015生理学・医学賞

センチュウ・放線菌



INTERGOVERNMENTAL PANEL ON CLIMATE CHANGE

PRESENTED TO

KATSUYUKI MINAMI

FOR CONTRIBUTING TO THE AWARD OF THE

NOBEL PEACE PRIZE

FOR 2007 TO THE IPCC

Handwritten signature
A. C. Parham
IPCC Chairman

Handwritten signature
K. Chen
IPCC Secretary

第1回北里大学農医連携シンポジウム

農・環境・医療の 連携を求めて

北里大学農医連携学術叢書 第1号

現代社会における食・環境・健康

陽 捷 行 編著

微量多成分が人間の心と身体におよぼす影響

漢方薬

機能性野菜

いのちを
育む作業

各種のバリアー

物質

人間の
心と身体

香り

機能性食品

ユニバーサル
デザイン

安らぎ緑空間

環境汚染物質

アレルギー物質

